

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公表番号】特表 2008-521358 (P2008-521358A)  
 【公表日】平成 20 年 6 月 19 日 (2008.6.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-024  
 【出願番号】特願 2007-543293 (P2007-543293)  
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/58 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/58 1 0 0 H

G 0 6 F 13/00 6 1 0 A

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 20 年 10 月 2 日 (2008.10.2)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
 【訂正対象項目名】全文  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

一つまたは複数のユーザアカウントを有するクライアント電子メールシステムの災害復旧システムであって、

前記クライアント電子メールシステムとの間で電子メールを送受信する一つまたは複数のサーバと、

前記クライアント電子メールシステムの故障を検知する遅滞モニタと、

前記クライアント電子メールシステムの故障にตอบสนองして、前記一つまたは複数のサーバにおける前記一つまたは複数のユーザアカウントにそれぞれ対応した一つまたは複数の臨時メールボックスを自動的に生成するメールボックス生成プロセスであって、前記クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールは、前記一つまたは複数のメールボックスに経路設定される、メールボックス生成プロセスと、

を備え、前記生成された一つまたは複数のメールボックスは、前記クライアント電子メールシステムの故障の間に前記ユーザアカウントによりそれぞれアクセス可能であること、を特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記遅滞モニタは前記一つまたは複数のサーバに備えられていることを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記一つまたは複数のサーバは、前記クライアント電子メールシステムに電子メールを送信する前に前記電子メールを選択的に待ち行列に入れ、

前記遅滞モニタは、前記サーバ内の電子メールの待ち行列が閾値を越えるときを判断することによって前記クライアント電子メールシステムの故障を検知することを特徴とする、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記閾値は時間値、数量値、または割合値を含み、前記閾値は各クライアント電子メールシステムにより動的に設定され変更されることを特徴とする、請求項 3 に記載のシステム。

## 【請求項 5】

前記遅滞モニタは、前記クライアント電子メールシステムから通知を受け取ることにより、前記クライアント電子メールシステムの故障を検知することを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

## 【請求項 6】

前記遅滞モニタは、前記クライアント電子メールシステムが修復されたときを検知し、それに応答して、前記一つまたは複数のメールボックス内の如何なる電子メールをも前記クライアント電子メールシステムに転送するトランスファープロセスを始動するように構成されたことを特徴とする、請求項 3 に記載のシステム。

## 【請求項 7】

前記一つまたは複数のメールボックスにユーザがアクセスできるようにするウェブメールインタフェースをさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

## 【請求項 8】

前記ウェブメールインタフェースは、前記一つまたは複数のメールボックス内のメッセージをユーザが削除するのを阻止するように設定可能であることを特徴とする、請求項 7 に記載のシステム。

## 【請求項 9】

前記ウェブメールインタフェースは、前記インタフェースを用いることによりユーザが送信したメッセージを格納するように設定可能であることを特徴とする、請求項 8 に記載のシステム。

## 【請求項 10】

電子メールメッセージを前記クライアント電子メールシステムまたは前記一つまたは複数のメールボックスに送信する前に一つまたは複数のルールに従って前記電子メールメッセージをフィルタするように構成されたメッセージスイッチをさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

## 【請求項 11】

前記一つまたは複数のルールは、ポリシールールと、コンテンツルールと、スパムルールと、ウィルスフィルタルールとを含むことを特徴とする、請求項 10 に記載のシステム。

## 【請求項 12】

前記一つまたは複数のメールボックスを格納する格納モジュールをさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載のシステム。

## 【請求項 13】

複数のユーザアカウントを有するクライアント電子メールシステムの災害復旧及び管理システムであって、

前記クライアント電子メールシステムに送信された電子メールメッセージを受信し処理する複数の分散サーバであって、前記クライアント電子メールシステムに電子メールを送信する前に前記電子メールを一時的に格納する一つまたは複数の待ち行列を含む複数の分散サーバと、

前記サーバの電子メールの待ち行列が閾値を超えるときを判断することによって前記クライアント電子メールシステムの故障を検知する遅滞モニタと、

故障に応答して、前記複数のユーザアカウントにそれぞれ対応した複数のメールボックスを自動的に生成するメールボックス生成プロセスであって、前記クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールは前記複数のメールボックスに経路設定される、メールボックス生成プロセスと、

を備え、前記生成された複数のメールボックスは、前記クライアント電子メールシステムの故障の間に複数のユーザアカウントによりそれぞれアクセス可能であること、を特徴とするシステム。

## 【請求項 14】

前記複数のメールボックスにユーザが選択的にアクセスできるようにするウェブメール

インタフェースをさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 3 に記載のシステム。

【請求項 1 5】

前記ウェブメールインタフェースは、前記一つまたは複数のメールボックス内のメッセージをユーザが削除するのを阻止するように設定可能であることを特徴とする、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

前記ウェブメールインタフェースは、前記インタフェースを用いることによりユーザが送信したメッセージを格納するように設定可能であることを特徴とする、請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 1 7】

電子メールメッセージを前記クライアント電子メールシステムまたは前記一つまたは複数のメールボックスに送信する前に前記電子メールメッセージを処理する一つまたは複数のフィルタをさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 1 8】

前記一つまたは複数のフィルタはスパムフィルタを備えていることを特徴とする、請求項 1 7 に記載のシステム。

【請求項 1 9】

前記一つまたは複数のフィルタはコンテンツフィルタまたはポリシーフィルタを備えていることを特徴とする、請求項 1 7 に記載のシステム。

【請求項 2 0】

前記一つまたは複数のフィルタはウィルスフィルタを備えていることを特徴とする、請求項 1 7 に記載のシステム。

【請求項 2 1】

前記一つまたは複数のメールボックスを格納する格納ファシリティをさらに備えたことを特徴とする、請求項 1 4 に記載のシステム。

【請求項 2 2】

複数のユーザアカウントを有するクライアント電子メールシステムの災害復旧及び管理方法であって、

前記クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールメッセージを受信し、処理し、送信する一つまたは複数のサーバに、電子メールメッセージを経路設定するステップと、

前記クライアント電子メールシステムの故障を検知するステップと、

前記クライアント電子メールシステムの故障の検知にตอบสนองして、前記複数のユーザアカウントにそれぞれ対応した複数のメールボックスを自動的に生成するステップと、

前記クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールメッセージを故障が修復されるまで前記一つまたは複数のメールボックスに経路設定するステップと、

を含み、前記生成された複数のメールボックスは、前記クライアント電子メールシステムの故障の間に前記ユーザアカウントによりそれぞれアクセス可能であること、を特徴とする方法。

【請求項 2 3】

前記クライアント電子メールシステムが修復されたときを検知するステップと、

前記一つまたは複数のメールボックス内の如何なる電子メールをも前記クライアント電子メールシステムに転送するステップと、

をさらに備えたことを特徴とする、請求項 2 2 に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記一つまたは複数のサーバは、前記クライアント電子メールシステムに電子メールメッセージを送信する前に前記電子メールメッセージを一時的に格納する一つまたは複数の待ち行列を有し、前記クライアント電子メールシステムの故障を検知するステップは、前記サーバの電子メールの待ち行列が閾値を超えるときを判断するステップを含むことを特徴とする、請求項 2 3 に記載の方法。

**【請求項 25】**

前記複数のメールボックスにユーザが選択的にアクセスできるようにするインタフェースを提供するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 23 に記載の方法。

**【請求項 26】**

前記インタフェースはウェブメールインタフェースであることを特徴とする、請求項 25 に記載の方法。

**【請求項 27】**

前記インタフェースは、ユーザが前記一つまたは複数のメールボックス内のメッセージを削除できないように設定されることを特徴とする、請求項 25 に記載の方法。

**【請求項 28】**

前記インタフェースは、前記インタフェースを用いることによりユーザが送信したメッセージを格納するように設定されることを特徴とする、請求項 27 に記載の方法。

**【請求項 29】**

前記クライアント電子メールシステムまたは前記一つまたは複数のメールボックスに電子メールメッセージを送信する前に前記電子メールメッセージをフィルタするステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 22 に記載の方法。

**【請求項 30】**

前記フィルタするステップはコンテンツフィルタリングまたはポリシーフィルタリングを含むことを特徴とする、請求項 29 に記載の方法。

**【請求項 31】**

前記フィルタするステップはスパムフィルタリングを含むことを特徴とする、請求項 29 に記載の方法。

**【請求項 32】**

前記フィルタするステップはウィルスフィルタリングを含むことを特徴とする、請求項 29 に記載の方法。

**【誤訳訂正 2】**

**【訂正対象書類名】**明細書

**【訂正対象項目名】**発明の名称

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【発明の名称】**電子メールシステムの災害復旧及び管理のシステム及び方法

**【誤訳訂正 3】**

**【訂正対象書類名】**明細書

**【訂正対象項目名】**0003

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【0003】**

従って、企業の電子メールサーバが利用不能になっても企業が電子メールメッセージを送受信し続けることができるようにする、電子メールシステムの災害復旧及び管理のシステム及び方法を提供することが望まれる。

**【誤訳訂正 4】**

**【訂正対象書類名】**明細書

**【訂正対象項目名】**0004

**【訂正方法】**変更

**【訂正の内容】**

**【0004】**

本発明は、電子メールシステムの災害復旧及び管理のための改善されたシステム及び方法を提供する。本システム及び方法は、クライアントの電子メールシステムに故障がおきるときを探知し、影響を受けたドメインに対しメールボックスアカウントを自動的に生成し、メールボックスアカウントは故障が修復される間到達するメールを待ち行列に入れる

。このシステムは、故障が修復されるまでクライアントが電子メール機能を維持することを可能にするウェブメールインタフェースをさらに含んでもよい。このシステム及び方法は、電子メールをクライアントに渡す前に、全ての電子メールをポリシー及びコンテンツのルールと、スパムと、ウィルスとでフィルタするメッセージスイッチをさらに備えていてもよい。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

本発明のもう一つの長所は、故障が修復されている間にクライアントからのアクションの必要なしにシームレスに到着メールを全て待ち行列に入れる、電子メールシステムの災害復旧システム及び方法を提供することである。このシステムは、故障が修復されるまでユーザが待ち行列に入れられた電子メールにアクセスできるようにしクライアントが電子メール機能を維持することを可能にするウェブメールインタフェースをさらに含んでもよい。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

本発明の一つの側面によると、一つまたは複数のユーザアカウントを有するクライアント電子メールシステムの災害復旧システムが提供される。システムは、クライアント電子メールシステムとの間で電子メールを送受信する一つまたは複数のサーバと、クライアント電子メールシステムの故障を検知する遅滞モニタと、故障にตอบสนองして、前記一つまたは複数のユーザアカウントに対応した一つまたは複数のメールボックスを自動的に生成するメールボックス生成プロセスであって、前記クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールは、前記一つまたは複数のメールボックスに経路設定 (route) されるメールボックス生成プロセスと、を備えている。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

本発明のもう一つの側面によると、複数のユーザアカウントを有するクライアント電子メールシステムの災害復旧及び管理システムが提供される。システムは、クライアント電子メールシステムに送信された電子メールメッセージを受信し処理する複数の分散サーバであって、前記クライアント電子メールシステムに電子メールを送信する前に電子メールを一時的に格納する一つまたは複数の行列を含むサーバと、サーバの電子メールの行列が閾値を超えるときを検知することによって前記クライアント電子メールシステムの故障を検知する遅滞モニタと、故障にตอบสนองして、前記複数のユーザアカウントに対応した複数のメールボックスを自動的に生成するメールボックス生成プロセスであって、前記クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールは前記複数のメールボックスに経路設定 (route) される、メールボックス生成プロセスと、を備えている。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

## 【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

## 【0011】

本発明のもう一つの側面によると、複数のユーザアカウントを有するクライアント電子メールシステムの災害復旧及び管理方法を提供する。方法は、クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールメッセージを受信、処理、送信する一つまたは複数のサーバに電子メールを経路設定 (route) するステップと、クライアント電子メールシステムの故障を検知するステップと、クライアント電子メールシステムの故障の検知に応答して、複数のユーザアカウントに対応した複数のメールボックスを自動的に生成するステップと、クライアント電子メールシステムに向けられた電子メールメッセージを故障が修復されるまで一つまたは複数のメールボックスに経路設定 (route) するステップと、を含む。

## 【誤訳訂正9】

## 【訂正対象書類名】明細書

## 【訂正対象項目名】0017

## 【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

## 【0017】

本システムは、クライアント電子メールシステムまたはサイト114における故障の際の災害復旧や管理にも備えている。もしクライアントの電子メールシステムに、クライアントへの電子メールメッセージ配達ができなくなるような故障が検知された場合、システムはクライアントの電子メールシステムの災害復旧及び管理を提供する。特に、システムは到着メールを待ち行列に入れて、クライアントの電子メールが復旧されるまでの間、電子メールへのアクセスを提供する。クライアントの電子メールシステムが復旧されると、システムは待ち行列のメッセージを、フロー制御の方法でクライアントに転送する。次に、これらの災害復旧及び管理機能について記載する。

## 【誤訳訂正10】

## 【訂正対象書類名】明細書

## 【訂正対象項目名】0019

## 【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

## 【0019】

フィルタリングプロセス200は、メッセージプロセッサまたは“スイッチ”、つまりポリシー、コンテンツ、スパム、及び/またはウィルスフィルタリング用のソフトウェアプログラムを有する。メッセージスイッチのインスタンスは、各サーバ104内に位置し機能していることが望ましい。メッセージスイッチは、一つまたは複数のプログラム（例えばポリシー、コンテンツ、スパム及び/またはウィルスフィルタリングプログラム）を備えている。一実施例においては、メッセージスイッチは、本譲受人に譲渡されここに統合される米国特許出願番号10/849,090に記載のメッセージスイッチとほぼ同様である。もしメッセージスイッチが、あるメッセージがコンテンツ、ポリシーまたはスパムルールに違反しているかまたはウィルスを含んでいると判断したとき、そのメッセージをブロック、拒否、または隔離してもよい。メッセージスイッチがメッセージを拒否または隔離せず、クライアントシステム114に故障が検知されなかったと仮定すると、メッセージはクライアントシステム114内の意図された受信者に進む。しかし、もし遅滞モニタ300がクライアントシステム114に故障を検知したとき、遅滞モニタ300は災害復旧シーケンスをトリガし、メッセージは下記のように格納ファシリティ400に送られる。

## 【誤訳訂正11】

## 【訂正対象書類名】明細書

## 【訂正対象項目名】0021

## 【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

## 【 0 0 2 1 】

格納ファシリティ 4 0 0 は、従来型の格納サーバ、プロセス、及びリダンダンシー付デバイスの一つまたは複数含む。格納ファシリティ 4 0 0 は、影響を受けたクライアントのドメインを真似たユーザメールボックスにメールを格納する。クライアント電子メールが復旧されると、トランスファースプロセスが始動され、格納された電子メールメッセージが格納ファシリティ 4 0 0 からクライアントシステムのそれぞれのメールボックスに送信される。一実施例では、格納ファシリティ 4 0 0 は、ユーザが自分のユーザメールボックスアカウントからメールを削除できないように設定されている。このようにして、クライアント電子メールが修復されると、クライアントの正しくかつ完全な電子メールシステムが復旧される。

## 【 誤訳訂正 1 2 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【 0 0 2 2 】

システム 1 0 0 のオペレーションを、電子メールシステムの災害復旧及び管理のために行われるメソッド 5 0 0 の一実施例を図示した図 3 を参照して記載する。メソッド 5 0 0 は、災害または故障がクライアントのサイトで起きクライアントのメールサーバが一定期間アクセス不能及び・または機能不能になる、ブロック 5 1 0 において始まる。クライアントの電子メールシステムが利用不可能となった結果、そのクライアントシステムのユーザに宛てられたメッセージは、システム 1 0 0 のメール転送エージェント(MTA: Mail Transfer Agent)のリレー行列に溜まり始める。ブロック 5 2 0 では、遅滞モニタ 3 0 0 が、いつ遅滞が予め決められた閾値(例えば割合、時間、または量)を超えるかを検知する。上記に説明した通り、予め決められた閾値は、クライアントによって異なってもよく、各クライアントによって動的に設定及び修正されてよい。遅滞モニタ 3 0 0 が閾値を越えたと判断すると、モニタ 3 0 0 はクライアント及びシステム 1 0 0 に、潜在的な故障または災害が起きたと通知する。遅滞モニタ 3 0 0 は、クライアントがシステム 1 0 0 にシステムまたはシステム管理者に故障を通知するメッセージを送ることにより、クライアントの故障を検知してもよい。

## 【 誤訳訂正 1 3 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【 0 0 2 4 】

ブロック 5 4 0 においては、システムはメッセージ配達のあて先をクライアントゲートウェイから格納ファシリティ 4 0 0 の臨時メールボックスアカウントに切り替える。これにより、待ち行列中のメールとクライアントに宛てられた新しいメールとが全て、クライアントの故障した電子メールシステムではなく、格納ファシリティ 4 0 0 の中のそれぞれのメールボックスアカウントに配達される。ブロック 5 5 0 では、システムは、従来型のウェブインタフェースから、ユーザがメールボックスアカウントにアクセスできるようにするウェブメールアプリケーションを稼動する。ウェブメールアプリケーションは、従来型のウェブベースのメールアプリケーションでよい。一実施例においては、ウェブメールアプリケーションはユーザが格納ファシリティ 4 0 0 に含まれたメッセージを削除できないように設定されている。ウェブメールアプリケーションはさらに、ユーザが送信する送信メールを全て保存するように設定されている。これによって、クライアント電子メールシステムが修復されると、クライアントの電子メールシステムの正しく完全なイメージが復旧される。

## 【 誤訳訂正 1 4 】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

【図1】分散ネットワーク上で実施される、本発明に係る、電子メールシステムの災害復旧及び管理システムの概念図である。

【図2】本発明に係る、電子メールシステムの災害復旧及び管理システムの一般的機能を図示したブロック図である。

【図3】本発明に係る、電子メールシステムの災害復旧及び管理システムのオペレーションを図示したフロー図である。